

# ル・コルビュジエ

## 絵画から建築へーピュリスムの時代

2019年2月19日－5月19日

国立西洋美術館

主催：国立西洋美術館、ル・コルビュジエ財団、東京新聞、NHK  
 後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、在日スイス大使館、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会  
 協賛：大日本印刷  
 協力：フランス文化財センター、日本航空、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン、Echelle-1、八十島プロシード、西洋美術振興財団

No.	作家名	作品名	制作年	所蔵先
<b>ピュリスムの誕生</b>				
001	比留間 真	「メゾン・ドミノ」1/30 模型	2005年	サレジオ工業高等専門学校 比留間真研究室
002	アメデ・オザンファン (編)	雑誌『エラン』1-9号	1915-16年	国立西洋美術館 研究資料センター
003	アメデ・オザンファン	テーブル、パイプ、本、瓶、紙のある静物	1917年	ジュネーヴ、ガンデュール美術財団
004	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	カップ、本、パイプ	1917年	森稔コレクション
005	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	カップとティーポットのある静物	1918年	パリ、ル・コルビュジエ財団
006	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	本、コーヒーポット、パイプ、グラスのある静物	1918年	パリ、ル・コルビュジエ財団
007	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	アルプス風景	1918年	パリ、ル・コルビュジエ財団
008	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	3隻のボート (アルカシオン湾)	1918年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
009	アメデ・オザンファン、シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	『キュビズム以後』	1918年	国立西洋美術館 研究資料センター
010	アメデ・オザンファン	自画像	1918年	パリ、ラロック=グラノフ・コレクション
011	ゴーモン社	ニュース映画「ピュリスム：オザンファンとジャンヌレが結成した新しい絵画の流派」	1919年	提供：ゴーモン・パテ・アルシーヴ
012	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《暖炉》の習作	1918年	パリ、ル・コルビュジエ財団
013	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	暖炉	1918年	パリ、ル・コルビュジエ財団
014	アメデ・オザンファン	シストロンの城壁	1918-19年	パリ市立近代美術館
015	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	開いた本、パイプ、グラス、マッチ箱のある静物	1918年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
016	アメデ・オザンファン	カラフ、あるいは瓶	1918年	パリ、ピエール&マルガレート・ゲネガン夫妻コレクション
017	アメデ・オザンファン	ピュリスムの習作	1919年	協力：ズロトウスキ画廊
018	アメデ・オザンファン	グラスとパイプのある静物	1919年	フィラデルフィア美術館
019	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	積み重ねた皿、三角定規、開いた本のある静物	1919年	協力：ズロトウスキ画廊
020	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《白い椀》の主題による習作	1918年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
021	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	白い椀	1919年	ザンクト・ガレン美術館
022	アメデ・オザンファン、シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ) (編)	雑誌『エスプリ・ヌーヴォー』1-28号	1920-25年	大成建設株式会社
023	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《ヴァイオリンとヴァイオリン・ケース》の習作	1920年	大成建設株式会社
024	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《ヴァイオリンとヴァイオリン・ケース》の習作	1920年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
025	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	積み重ねた皿、ギター、ランタンのある静物	1920年	パリ、ル・コルビュジエ財団
026	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	青い背景に白い水差しのある静物	1919年	バーゼル美術館
027	アメデ・オザンファン	ヴァイオリンのある静物	1919年頃	パリ市立近代美術館
028	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	赤いヴァイオリンのある静物	1920年	森稔コレクション
029	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	積み重ねた皿のある、ブルターニュ風景の前の静物	1920年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
030	アメデ・オザンファン	カラフ、瓶、ギターのある静物	1919年	ワシントン、ナショナル・ギャラリー

031	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	垂直のギター (第一作)	1920年	パリ、ル・コルビュジエ財団
032	アメデ・オザンファン	瓶、カラフ、ヴァイオリン	1920年	バーゼル美術館
033	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	ランタンとギターのある静物	1920年	バーゼル美術館
034	アメデ・オザンファン	静物	1920-21年	サンフランシスコ近代美術館
035	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	積み重ねた皿のある静物	1920年	バーゼル美術館
036		雑誌『デア・アラト』第2巻11号	1921年11月	国立西洋美術館 研究資料センター
037	レオンス・ローザンバール (編)	雑誌『エフォル・モデルヌ月報』第1号	1924年1月	国立西洋美術館 研究資料センター

## II キュビズムとの対峙

038	パブロ・ピカソ	葡萄の帽子の女	1913年	ポーラ美術館
039	パブロ・ピカソ	帽子の男	1915-16年	東京ステーションギャラリー
040	ジョルジュ・ブラック	ギターとグラス	1917年	オッテルロー、クレラー=ミュラー美術館
041	パブロ・ピカソ	静物	1922年	パリ国立近代美術館 (ボンビドゥー・センター)
042	ジョルジュ・ブラック	食卓	1920年	ウィーン、アルベルティーナ美術館
043	パブロ・ピカソ	魚、瓶、コンポート皿 (小さなキッチン)	1922年	群馬県立近代美術館
044	アンリ・ローランス	扇を持ち横たわる女	1919年	パリ国立近代美術館 (ボンビドゥー・センター)
045	アンリ・ローランス	クラリネットを吹く男	1919年	ワシントン、スミソニアン学術協会 ハーシュホーン美術館・彫刻庭園
046	ファン・グリス	コーヒーポットのある静物	1918年	パリ国立近代美術館 (ボンビドゥー・センター)
047	ファン・グリス	静物	1918年	オッテルロー、クレラー=ミュラー美術館
048	ファン・グリス	『ル・マタン』紙のある静物	1918年頃	オッテルロー、クレラー=ミュラー美術館
049	ファン・グリス	果物皿と新聞	1918年	静岡県立美術館
050	ファン・グリス	ギター、パイプ、楽譜のある静物	1920年	アイントホーフエン、ファン・アッペ美術館
051	ファン・グリス	ヴィオラ	1920年	チューリヒ美術館
052	ファン・グリス	円卓	1921年	東京国立近代美術館
053	ファン・グリス	開いた本	1925年	ベルン美術館
054	ジャック・リブシッツ	浴女	1917年	カンザス・シティ、ネルソン=アトキンス美術館
055	ジャック・リブシッツ	ギターを持つ水夫	1917-18年	アイントホーフエン、ファン・アッペ美術館
056	ジャック・リブシッツ	ドレーブをまとった女	1919年	インディアナ大学エスケナヅィ美術館
057	フェルナン・レジェ	2人の女と静物	1920年	ヴッパータール、フォン・デア・ハイト美術館
058	フェルナン・レジェ	2人の女	1922年	ワシントン、ナショナル・ギャラリー
059	フェルナン・レジェ	ピュリスムのコンポジション	1920年	パリ、ケヴィン&ベネディクト・ゲネガン夫妻 コレクション
060	フェルナン・レジェ	《母と子》の習作	1924年	フィラデルフィア美術館
061	フェルナン・レジェ	雑誌『エスプリ・ヌーヴォー』表紙デザイン案	1922年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
062	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《赤ワイン (あるいはオレンジ・ワイン) の瓶》の主題による習作	1922年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
063	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《オレンジ・ワインの瓶》の習作	1921年	大成建設株式会社
064	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	瓶、グラス、本のある静物	1921年	パリ、ル・コルビュジエ財団
065	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	サイフォンのある静物	1921年	パリ、ル・コルビュジエ財団
066	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	縦のピュリスムの静物	1922年	協力：ズロトウスキ画廊
067	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	輝く静物	1922年	森稔コレクション
068	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	ランタンのある淡色の静物	1922年	パリ、ル・コルビュジエ財団
069	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	アンデパンダン展の大きな静物	1922年	ストックホルム近代美術館
070	アメデ・オザンファン	瓶のある静物	1922年	ロサンゼルス・カウンティ美術館

071	アメデ・オザンファン	和音	1922年	ホノルル美術館
072	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	多数のオブジェのある静物	1923年	パリ、ル・コルビュジエ財団
073	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	ヴァイオリン、グラス、瓶のある静物	1922年	パリ、ル・コルビュジエ財団
074	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	ギター、瓶、カラフ、グラスのある静物	1922年	パリ、ル・コルビュジエ財団
075	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	グラス、瓶、カラフのある静物	1923年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
076	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《多数のオブジェのある静物》の習作	1923年	パリ、ル・コルビュジエ財団
077	横浜国立大学工学部建築学科 山田研究室 (当時)	「画家オザンファンのアトリエ・住宅」1/30 模型	1988年	広島市現代美術館
078	東京工業大学工学部建築学科 八木研究室 (当時)	「ラ・ロシュ=ジャンヌレ邸」1/30 模型	1988年	広島市現代美術館

## III ピュリスムの頂点と終幕

079	ル・コルビュジエ=ソーニエ	『建築をめざして』	1923年	国立西洋美術館 研究資料センター
080	ル・コルビュジエ	『今日の装飾芸術』	1925年	国立西洋美術館 研究資料センター
081	ル・コルビュジエ	『ユルバニスム』	1925年	大成建設株式会社
082	アメデ・オザンファン、シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	『近代絵画』	1925年	国立西洋美術館 研究資料センター
083	ル・コルビュジエ	『近代建築年鑑』	1926年	大成建設株式会社
084	ル・コルビュジエ	『住宅と宮殿』	1928年	大成建設株式会社
085	ル・コルビュジエ	『プレジジョン (建築と都市計画の現状に関する詳論)』	1930年	大成建設株式会社
086	東京理科大学アルカディア自由ゼミナール (当時)	「イム=ブル=ヴィラ」1/100 模型	1988年	広島市現代美術館
087	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	エスプリ・ヌーヴォー館の静物	1924年	パリ、ル・コルビュジエ財団
088	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	2本の瓶 (ばら色の背景)	1921-23年頃	森稔コレクション
089	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	エリオポリス	1924年	ジュネーヴ、ガンデュール美術財団
090	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《ばら色の地に2本の瓶》の習作	1924年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
091	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	《ヴァイオリン、グラス、瓶》の習作	1926年	パリ、ル・コルビュジエ財団
092	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	水差しとコップ—空間の新しい世界	1926年	大成建設株式会社
093	アメデ・オザンファン	ピュリスムの静物—壺、瓶、開いた本	1925年	協力：ズロトウスキ画廊
094	アメデ・オザンファン	ガラス容器のある静物	1925年	ダヴィッド・ゲゼルバシュ
095	アメデ・オザンファン	グラス、壺、瓶のある静物	1926年	ヴィンタートゥール美術館
096	アメデ・オザンファン	真珠母 No.2	1923-26年	フィラデルフィア美術館
097	フェルナン・レジェ	静物	1924年	リーヘン/バーゼル、パイエラー財団
098	フェルナン・レジェ	サイフォン	1924年	バッファロー、オルブライト=ノックス美術館
099	フェルナン・レジェ、ダドリー・マーフィー	バレエ・メカニック	1924年	提供：シネドク・エ・パリ・ココブ
100	フェルナン・レジェ	無題	1925年	サンフランシスコ近代美術館
101	フェルナン・レジェ	横顔のあるコンポジション	1926年	ヴッパータール、フォン・デア・ハイト美術館
102	フェルナン・レジェ	女と花	1926年	東京国立近代美術館

## IV ピュリスム以降のル・コルビュジエ

103	芝浦工業大学工学部建築工学科 三宅研究室 (当時)	「スタイン=ド・モンツィ邸」1/30 模型	1988年	広島市現代美術館
104	東京芸術大学美術学部建築科 益子研究室 (当時)	「ヴァイセンホフ・ジードルンクの住宅」1/50 模型	1988年	広島市現代美術館
105	ドイツ工作連盟 (編)	『建築と住宅』	1927年	国立西洋美術館 研究資料センター
106	アルフレート・ロート	『ル・コルビュジエとビエール・ジャンヌレによる2つの住宅』	1927年	国立西洋美術館 研究資料センター
107	紙谷 譲	「サヴォワ邸」1/50 模型	2010年	大成建設株式会社
108	ル・コルビュジエ	「サヴォワ邸」習作スケッチ：各階平面図、室内パース、外観パース、俯瞰スケッチ	1928年	パリ、ル・コルビュジエ財団
109	ル・コルビュジエ	「サヴォワ邸」習作スケッチ：人物のいるテラスのパース、寸法つき構造断面	1928年	パリ、ル・コルビュジエ財団

110	ル・コルビュジエ、シャルロット・ペリアン、 ピエール・ジャンヌレ	回転式アームチェア	1928年	ベルリン、ウルリヒ・フィードラー・ギャラリー
111	ル・コルビュジエ、シャルロット・ペリアン、 ピエール・ジャンヌレ	回転式スツール	1929年	ベルリン、ウルリヒ・フィードラー・ギャラリー
112	ル・コルビュジエ、シャルロット・ペリアン、 ピエール・ジャンヌレ	寝椅子 (シェーズ・ロング)	1928-29年デザイン 1930年代製作	豊田市美術館
113	ル・コルビュジエ、シャルロット・ペリアン、 ピエール・ジャンヌレ	肘掛け椅子 (バスキュラン)	1929年デザイン 1930年代製作	豊田市美術館
114		『ル・コルビュジエとP. ジャンヌレ』第1集 (雑誌『アルシテクチュール・ヴィヴァント』別冊)	1928年	国立西洋美術館 研究資料センター
115		『ル・コルビュジエとP. ジャンヌレ』第2集 (雑誌『アルシテクチュール・ヴィヴァント』別冊)	1929年	国立西洋美術館 研究資料センター
116		『ル・コルビュジエとP. ジャンヌレ』第3集 (雑誌『アルシテクチュール・ヴィヴァント』別冊)	1930年	国立西洋美術館 研究資料センター
117		『ル・コルビュジエとP. ジャンヌレ』第4集 (雑誌『アルシテクチュール・ヴィヴァント』別冊)	1931年	東京、個人蔵
118		『ル・コルビュジエとP. ジャンヌレ』第5集 (雑誌『アルシテクチュール・ヴィヴァント』別冊)	1932年	国立西洋美術館 研究資料センター
119	ル・コルビュジエ著、ハンス・ヒルデブラント訳	『建築をめざして』(ドイツ語版)	1926年	国立西洋美術館 研究資料センター
120	ル・コルビュジエ著、フレデリック・エチェルス訳	『建築をめざして』(英語版)	1927年	国立西洋美術館 研究資料センター
121	O. ストノロフ、W. ベジガー (編)	『ル・コルビュジエ & ピエール・ジャンヌレ作品集 1910-1929年』	1930年	国立西洋美術館 研究資料センター
122	ピエール・シュナル	今日の建築	1927-1931年頃	提供：ゴーマン・パテ・アルシーヴ
123	フランソワ・ド・ピエールフ	『ル・コルビュジエとP. ジャンヌレ』	1932年	国立西洋美術館 研究資料センター
124	洪洋社 (編)	『月刊図集 近世建築』第95号「コルビュジエ氏近作集」	1928年1月	東京、個人蔵
125	洪洋社 (編)	『ル・コルビュジエ作品集』	1929年	東京、個人蔵
126	国際建築協会 (編)	『ル・コルビュジエ』	1929年	東京、個人蔵
127	ル・コルビュジエ著、宮崎謙三訳	『建築藝術へ』(『建築をめざして』日本語版)	1929年	東京、個人蔵
128	ル・コルビュジエ著、前川國男訳	『今日の装飾藝術』	1930年	国立西洋美術館 研究資料センター
129	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	瓶、果物皿、パイプのある静物	1927-28年頃	パリ、ル・コルビュジエ財団
130	ジャック・リブシッツ	マンドリンを弾く男	1925年	ワシントン、スミソニアン学術協会 ハーシュホーン美術館・彫刻庭園
131	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	水差しのある静物	1927年	森稔コレクション
132	ル・コルビュジエ	カラフと溝つきグラスのある静物	1932年	パリ、ル・コルビュジエ財団
133	ル・コルビュジエ	《(朱色の) グラスと瓶》の習作	1928年	パリ、ル・コルビュジエ財団
134	ル・コルビュジエ	《灯台のそばの昼食》の習作	1928年	大成建設株式会社
135	ル・コルビュジエ	灯台のそばの昼食	1928年	パリ、ル・コルビュジエ財団
136	シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)	円卓の前の女性と蹄鉄	1928年	パリ、ル・コルビュジエ財団
137	ル・コルビュジエ	サーカス 女性と馬	1929年	大成建設株式会社
138	ル・コルビュジエ	《レア》の習作	1930年	パリ、ル・コルビュジエ財団
139	ル・コルビュジエ	《レア》の主題による習作	1932年	パリ、ル・コルビュジエ財団
140	ル・コルビュジエ	レア	1931年	大成建設株式会社

\* 展示会場の温度、湿度、照明は、作品保護に関する国際基準と慣例、および所蔵美術館の貸出条件にしたがって厳密に管理されています。ご来館の方々にとって理想的と感じられない場合もあるかと存じますがご容赦願います。

\* 隣り合う作品の大きさや壁面とのバランスなど、展示の視覚的効果を考慮したため、ネームプレート  
の作品番号と展示の順番が異なる場合がございますのでご注意ください。

会場内の解説パネルは日本語のみとなっておりますので、こちらのQRコードよりアプリ  
をダウンロードしてお楽しみください。英語、  
中国語、韓国語に対応しています。

